

## おわりに

平成 19 年度に特別支援教育がスタートして 7 年が経とうとしている。小・中学校の義務教育段階では、校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターの指名は、ほぼ 100%に近い。枠組みは整ったが、具体的な指導・支援にどう取り組むか、個別の指導計画や個別の教育支援計画等をどう活用するか、質の向上がここ数年の課題となってきた。

学校、家庭、地域の教育力といわれるように、これからの教育の充実が学校のみで取られるものではなく、地域の中で子どもたちをどう育てていくかがますます重要になる。横の連携の充実である。学校は積極的に地域の社会資源を活用し、地域はまた積極的に学校に協力する体制を整備する必要がある。

我が国の教育は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校そして大学等の高等教育機関と、それぞれがきちんとした枠組みのある教育制度が整っている。残念なのは、それらの学校間の接続が必ずしも円滑ではないということである。特別支援教育という視点でみると、支援が次のステージにどうつながっていくか、支援の連続性の課題があらためて浮き彫りになってきている。縦の連携の充実である。

本研究の課題は、小学校、中学校で特別支援教育を受けてきた子どもたちへの支援を高等学校以降にどうつなげていくかの課題でもあった。高等学校における特別支援教育は高等学校だけの問題ではなく、高等学校に至るまでの特別支援教育の充実が必要であり、そしてまた、高等学校を卒業した後の社会参加につながる特別支援教育の充実が必要であるということである。

最後に、本研究の趣旨をご理解いただき、ともに実践研究を進めてくださいました研究協力校の教職員の皆様、研究に対する適切な指導・助言を賜りました研究協力者、研究協力機関の皆様、調査にご協力いただきました教育委員会及び各研究校の皆様に深く感謝申し上げます。

研究代表者 企画部 総括研究員 笹森 洋樹



専門研究 B

高等学校における発達障害等の特別な支援を必要とする生徒への

指導・支援に関する研究

－授業を中心とした指導・支援の在り方－

平成 24 年度～平成 25 年度

研究成果報告書

研究代表者 笹森 洋樹

平成 26 年 3 月

著作 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発行 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

TEL : 046-839-6803

FAX : 046-839-6918

<http://www.nise.go.jp>



